

令和7年シラス曳網調査結果 (第19報)

令和7年11月27日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

11月25日

2 調査海域

相馬海域

37-48N線上 141-00E(水深10m)、141-05E(水深29m)、
141-10E(水深38m)、141-15E(水深54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合1mm)
水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

14.8°C～16.0°C

(2)シラス採捕数(図1)

1定点あたり0～607尾(合計1,273尾)

今回のシラス採集数は前回調査時(11月11日、42～158尾、合計368尾)と比較し、増加しました。

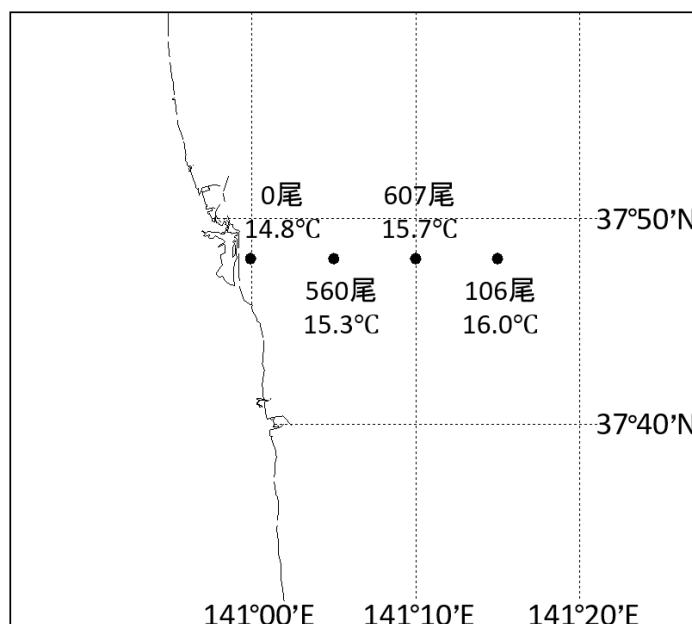


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲: 6.6~24.0mm

141-05E、141-10E、141-15Eで全長12mm前後の群のシラスが採集されました。

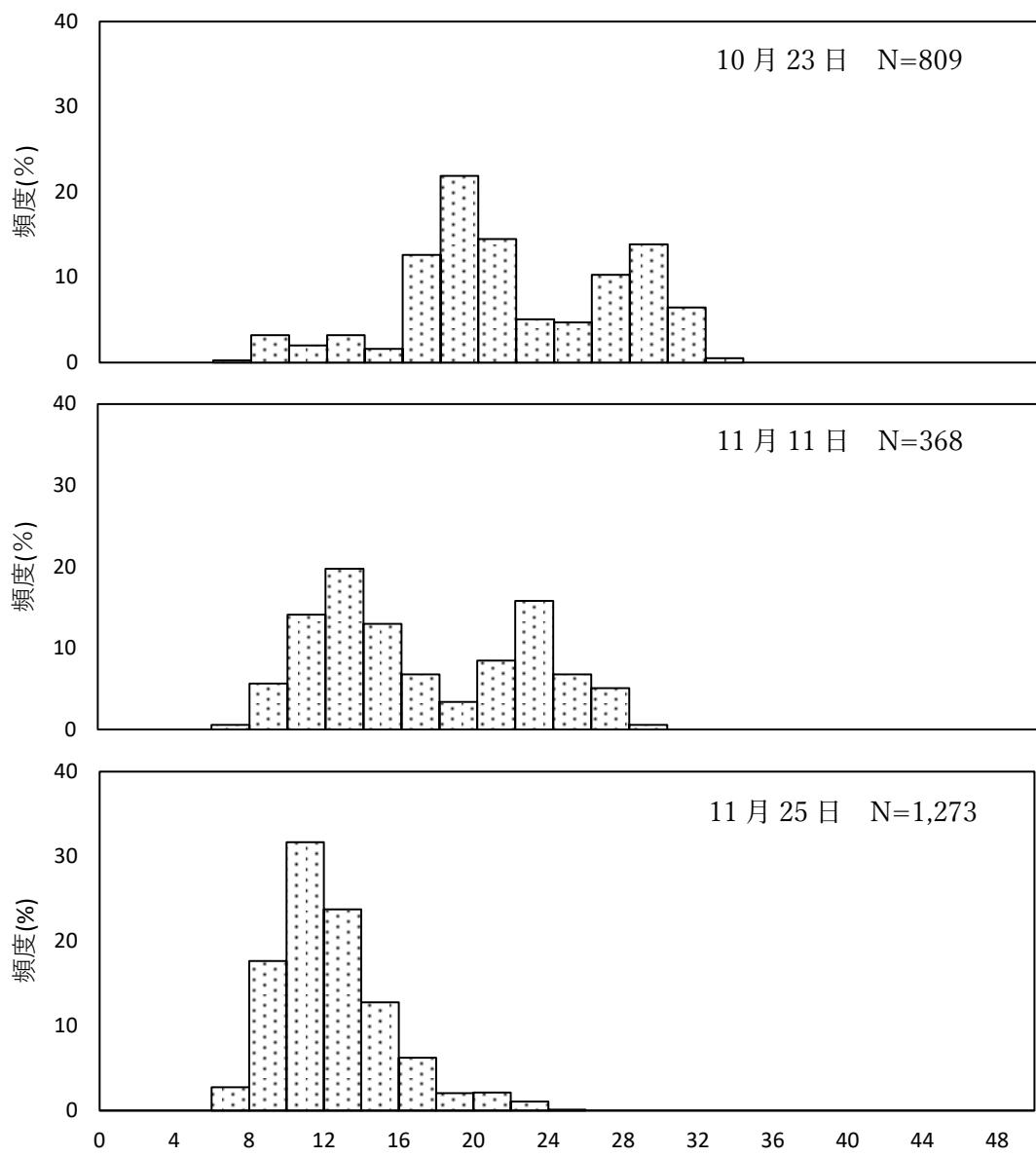


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和7年11月の1定点あたりのシラス採捕数は121.9尾/定点で、平成18年以降で2番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年は1月にいわき地区で約6t、相双地区で約36tの水揚げがありました。また、いわき地区では6月9日、相双地区では8月18日より漁が行われています。

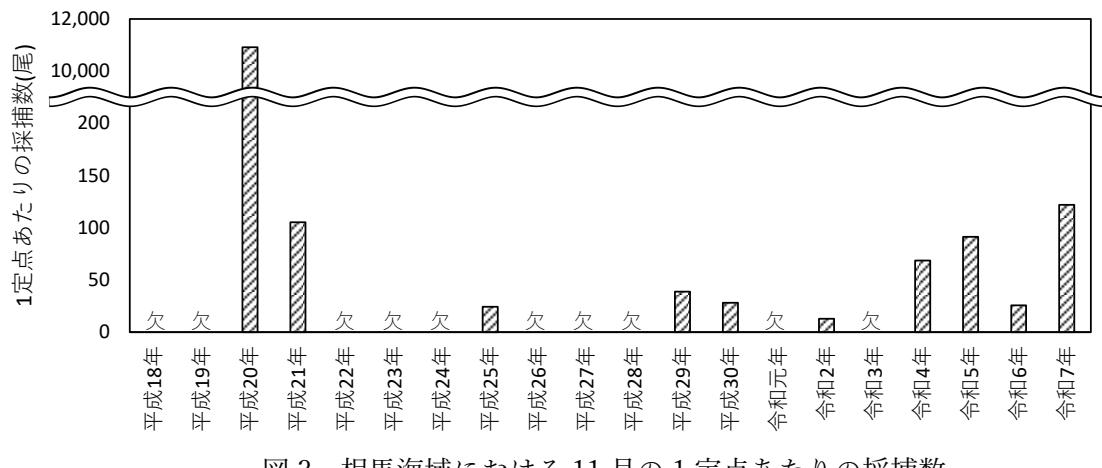


図3 相馬海域における11月の1定点あたりの採捕数

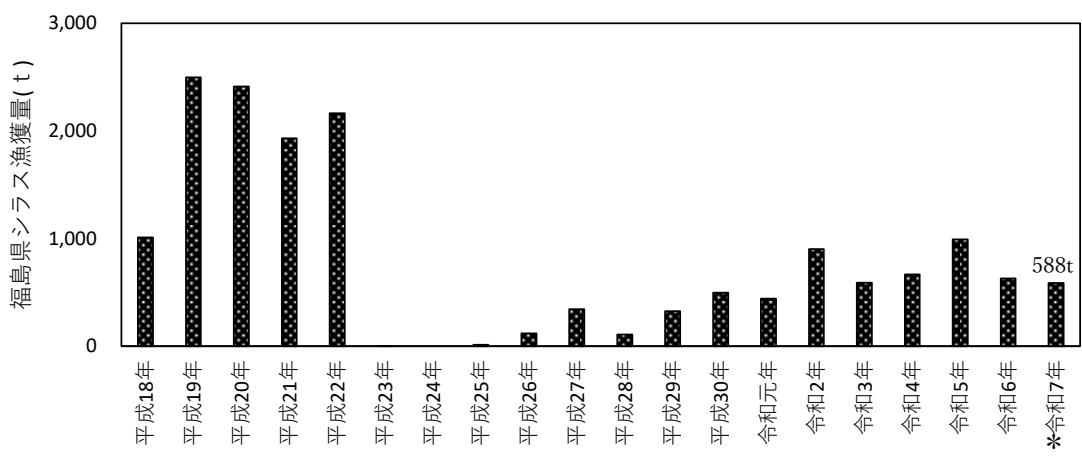


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*10月31日までの速報値